

小学校統合プラン説明会会議録

と き 平成23年8月3日午後7時30分～午後8時50分

ところ 八橋地区公民館

出席者 地区民男性13人、女性7人 計20名

石前委員長・高塚委員・進委員・前畑委員・永田教育長・生田課長・藤村課長
浅田補佐・谷本補佐・高力係長・谷岡係長

開会 生田課長

あいさつ 石前委員長

統合プラン説明 永田教育長

資料により説明させていただき、皆様とともにこの問題を考えていきたいと思う。

別紙資料により説明。

財政推計について生田課長説明

質問・意見交換

○ 統廃合が進めば行財政面でメリットがあると思っていたが、今の説明では、支出が減る分収入の普通交付税が減って、財政的にはそう変わらないというのが意外な点だった。統廃合が進んでも、先生はあまり減らさないで、特別支援員等を確保していただきたい。統合によって、そういう予算を確保できると思っていた。

● 先生の数は、学級編成基準で決まって、先生の給料は国が1/3、県が2/3負担している。また複式解消の加配や30人学級の負担金、それ以外に5人の町講師を入れてもらっている。そういう面では教育の質という部分で、統合してもしなくてもそれは理解をいただき、考えていかないといけないことと思っている。

○ 統合した場合、交通手段はどうか。3校が統合した場合、施設は賄えるのか。

● 統合した場合は路線バスを利用してはと思っている。施設は統合した場合の児童数と建築当時の児童数は同じくらいで、現在の学級編成基準からいっても大丈夫だと思う。

○ 統合した場合、児童の心理面の負担をどのような方法で解消を考えているのか。

● 今までの説明会でも保護者の方からそのような不安が出ていた。今でも小学校から中学校へ行くときの不安等を持っている。これは当然、教育委員会も考えていかないといけないと思うが、準備委員会等でも統合に当たっての児童の交流ということも検討いただきたい。今でも子どもはスポーツ少年団や、宿泊訓練、修学旅行など一緒にやっていて、ある程度顔見知りにはなっていると思うが、いざ進めていく場合はより濃い交流を図り不安を解消していきたいと思っている。

○ 今、話を聞いて良く分かった。赤碕小、浦安小、八橋小は現在のまま変わらず、それでよかったということで済んでしまう問題ではない。資料にある大・小規模化の問題点は

今挙げた学校はどうか。琴浦の教育のめざす姿、これは現在も取り組まれていると思うが、そういうことを全学校明確にして進めてもらいたい。

● この説明会するとき、関係ない地区はどうするかということもあったが、全体的な問題であるため、9地区で説明会を開催した。今後は小学校単位で、小、保育所保護者と懇談会を計画している。これを皆の問題として考えていきたいと思っている。

○ 町保連もこの問題に関心を持っていかないといけないと思っている。古布庄保育園と鈿保育園が統合になって、古布庄保育園は休園という形になっている。小学校は統合ということで廃校という形になるのか。それと赤碕地区は小学校3校統合ということになれば保育園はどうなるか、そのあたりの連携はあるのか。

● そのあたりはもっともな指摘だと思う。答申をいただき、教育委員会は1年間かけて協議した。古布庄保育園は今年度から鈿保育園と統合になっている。連動していかないと保護者の皆さんも困られる。そのあたりのことは大変ご迷惑をかけていると思っている。

○ 登校のときは路線バスでいいと思うが、下校時も路線バスを使うのはどうかと思う。あと、廃校になった建物の跡地利用については今後考えていけばいいと思う。

● 下校時のバスのことはある地区の説明会でも質問があった。普段はいいが、日によっては早い時間に終る時があるということで、それも今後の検討課題の一つだと思っている。

○ 今回で9回目の説明会ということだが、今までの質問意見等まとめた資料があると思うが、その資料提供を小学校の懇談会の時にでもお願いしたい。

● はいわかりました。

○ 複式学級で、隣同士15人、16人の学級の先生は、減らされるのか。

● 古布庄小学校を例に説明すると平成22年度は、複式学級はなかったので6学級の基準です。23年度は、併せて16人の学級が2つでき国の基準では4学級となるが、県の負担で解消してもらっている。24年度からは併せて11人の学級が出来るので、複式解消を図るには県に負担金を払って解消することになる。

○ 資料の2ですが、答申では平成32年度に1校となっていますが、教育委員会ではどういう考えか。

● 32年度には1校ずつにはしない。統合プランは喫緊の課題である、1クラス数人となる少ない集団の解消、ある程度の集団の統合を平成26年度という提案である。当分の間は今のプランで行き、今度統合を考える時には、小学校だけでなく中学校問題も考える。今1校ずつにするとかなり大きな学校となり、また新しい校舎の増改築も必要で、町民の理解をいただくのが難しいと思っている。

○ 親もPTA会員が少なくなり活動も四苦八苦している中で、統廃合が進むのは致し方ないし、いい面も悪い面も親は親なりに子どもと一緒に生活の工夫をしていかないといけないと思っている。

八橋も他人事でなく、そもそもの問題は、少子化で若い人が地元を離れない、また帰ってきて子どもを育てる収入が得られる、そういう地域づくりを町全体で考えないとイケな

い。26年度の統合プランを目処に、今後、少子化が進まない方策を私たちは考えていかないといけない、皆がそういう思いを持つことが重要である。

A 平成25年に特別高等支援学校が赤碕高校跡地に開校する。これは軽度の知的障がいのある方の職業自立をめざした学校で、就職等の確保が重要になってくる。そのためにも特別支援の教育の充実や企業の理解、協力を得て話が進んでいる。町も定住化対策、少子化対策に取り組んでいるが、今後も皆さんの知恵を借りて、より一層取り組む必要がある。

司会 他にご意見はありませんか。長時間にわたり皆様方のご意見を賜り有難うございました。本日は皆様ご苦勞様でした。これで閉会させていただきます。

午後8時45分閉会